茨城大学生（行政法ゼミナール所属）と水戸市議会議員の
意見交換会「学生と創る、未来の水戸」報告書

1　開催日時等

（1）日時　令和８年 10 月 23 日（金）10：35～12：20

（2）会場　茨城大学 人文社会科学部 Ｂ棟 201



2　参加者

（1）市議会議員　　９名

（2）大学教員等（ファシリテーター）　３名

ア　茨城大学 人文社会科学部 教授 髙橋 大輔　氏

イ　茨城大学 人文社会科学部 教授 今川 奈緒　氏

ウ　茨城大学 人文社会科学部 准教授 伊藤 純子　氏

（3）茨城大学人文社会科学部生　　15 名

3　開催目的

大学生との意見交換を通して、将来の水戸を担う若い世代の意向の把握に努めるとともに、主権者教育の推進を図るために実施した。

4　実施方法等

（1）実施方法

学生と議員が混合の３つのグループに分かれ、ファシリテーターの進行により下記のテーマについて意見交換を実施した。

（2）意見交換のテーマ

ア　テーマ①「学生にとって住みやすいまち」

イ　テーマ②「学生の声が議会（又は議員）に届くようにするために」



５　主な意見

(1) テーマ①「学生にとって住みやすいまち」

・公共交通

大学生活の身近な問題点として、公共交通の利便性向上を求める意見が多かった。特に、バスの運行時刻を授業時間に合わせて改善することを求める意見が多かった。

また、水戸市シェアサイクル「みとちゃり」については、ステーションの自転車が全て貸出し中で、使いたいときに使えない場合があるため、ステーションの拡充等を求める意見があった。

・防犯・安全対策

大学周辺や水戸駅南口における治安悪化への不安の声が多く、夜間でも安心してまちを歩けるよう、防犯対策の強化や街灯の増設を望む意見が多かった。

・生活費

一人暮らしの学生にとって家賃や交通費の負担が大きいことから、負担軽減を求める意見があった。

また、あまりお金をかけずに学生が集まれる場所があると、より暮らしやすくなるという意見があった。

(2) テーマ②「学生の声が議会（又は議員）に届くようにするために」

大学生が気軽に意見を言いやすくするために、定期的に意見交換会を開催することやＳＮＳを活用した意見箱を設置してはどうかとの提案が多かった。特に、意見交換の成果を可視化することで、自分たちの声が議会に届いたという実感を得られるとの意見があった。

そのほか、議会の活動を知ってもらうために、授業の一環として市議会に関する講義を組み込むことや、模擬請願を実施することについて提案があった。

また、議会に関するインターンシップを授業の単位として認定することで、参加意欲が高まるのではないかとの提案があった。

６　ファシリテーターの講評

(1) Ｃグループ　茨城大学　今川教授



今回で２回目となる意見交換会の開催に当たり、御協力いただいた方々に心より御礼申し上げる。

各グループの多様な意見を通して、改めて「対話の機会」を持つことの重要性を認識した。発表の中でも請願・陳情やＳＮＳ等を駆使した意見収集の方法等が提案されたが、一方的に意見を言うだけにとどまらず、その意見に対するフィードバックを行うなど、双方向による対話を重ね、よりよい結論を導き出せるように、今後もこのような意見交換の機会が必要と考える。

次回の意見交換会では、特定のテーマを深掘りした「政策提言会」のような、さらに発展させた形での開催を検討していきたい。

Ａグループの意見の概要

１　「学生にとって住みやすいまち」（テーマ①）

(1) 防犯・防災



- 災害に強いまち
- 治安がよく夜間に１人でも歩けるまち

  特に水戸駅南口の治安やバイクの騒音に対する不安がある。まちが「栄えていること」と「治安のよさ」とのバランスが難しい。

(2) 公共交通

- 公共交通が発達しているまち（大学の授業が午後７時までかかることがあり、バスが使いにくい）
- 交通マナーがいいまち

(3) ライフスタイル

- 歩きたくなるまち
- 買物がしやすいまち
- 家賃・物価が安く、一人暮らしの学生が暮らしやすいまち
- 仕事と遊びのメリハリのある生活ができるまち
- 居場所があるまち

２　「学生の声が議会（又は議員）に届くようにするために」（テーマ②）

(1) 広報の充実

- 大学メールを活用した「みと議会だより」のＰＲ
- 議員の人となりが分かる広報

(2) 意見の募集

- ＬＩＮＥのオープンチャット等のＳＮＳを活用した意見募集
- 身近な場所に意見箱を設置

(3) 交流の機会

- 大学で議会に関する講義の実施
- 意見交換会の定期開催
- 議会インターンシップを授業の単位として認定することで、参加意欲を高める。
- 学生と議員の政策提案





Ｂグループの意見の概要

１　「学生にとって住みやすいまち」（テーマ①）

(1) 公共交通

・　交通の利便性がいいまち（バスの本数は多いが、最終便の時刻を遅くしてほしい）



(2) 防犯・安全

・　夜の治安がよく安心安全に暮らせるまち
・　歩道・自転車道の整備
・　街灯の増設

(3) ライフスタイル

・　遊ぶ場所が多いまち
・　学生がお金をかけずに時間をつぶせる場所（大学近くの学割カフェなど）
・　図書館等にコミュニケーションの場を設ける。
・　スーパーが近くにある。
・　安くて便利なお店や施設が充実している。

(4) 就活・就職

・　就活がしやすいまち
・　就職先が多いまち

２　「学生の声が議会（又は議員）に届くようにするために」（テーマ②）

(1) 意見の募集

・　オンライン上で学生の意見を募るアンケートの実施
・　目安箱設置（身近な場所で意見を募集）

(2) 議会への理解促進

・　ＳＮＳを活用した広報
・　大学で議会に関する講義を実施
・　学生向けの議会見学会や土日議会の開催
・　意見交換会を積極的に開催（議会改革推進プランにより制度化されていることを周知）
・　傍聴した学生が、会議終了後に、議員に質問できる機会を設ける。
・　講義の中で模擬請願や政策提案を行う。





Ｃグループの意見の概要

１　「学生にとって住みやすいまち」（テーマ①）

(1) 公共交通

- 移動手段が豊富なまち（郊外は不便）
- 交通の利便性がよく交通費が安いまち
- 自転車で移動しやすいまち（シェアサイクルステーションの増設や「みとちゃり」の利便性向上）



(2) 防犯・防災

- 非常時に助け合えるまち
- 夜間でも安心して暮らせるまち（街灯が少なく夜道が不安、水戸駅南口の治安が悪い）

(3) ライフスタイル

- スーパー等が近くにあり日常生活を送りやすいまち（主要な施設が密集している）
- アルバイトの選択肢が多い。
- 学生が使いやすい給水所などのサービスがある。
- 家賃の補助（若者の単身世帯が市営住宅に入居できる）や学生応援食料支援事業の実施
- 気軽に利用できる勉強スペースがある。
- 地域活動に参加しやすい環境

２　「学生の声が議会（又は議員）に届くようにするために」（テーマ②）

(1) 意見の募集・結果の公表

- 水戸市在住（通学）の学生専用の掲示板設置
- 市公式ＬＩＮＥ等を活用した意見箱設置
- 学園祭に合わせたシール投票
- 意見交換会の成果を可視化

(2) 議会への理解促進

- ＳＮＳを活用した広報
- 講演会や懇談会の開催
- 大学と議会の共同ゼミ
- 政策提言会の実施





意見交換の流れ（概要）

【開会・議長挨拶】

事務局の進行の下、意見交換会を開会した。

冒頭、袴塚孝雄議長が、議会代表として挨拶を行った。



【９月定例会の報告・議会改革の取組紹介】

佐藤昭雄 議会改革調査特別副委員長が、水戸市議会の現状と９月定例会報告（議決した議案等）、これまでの議会改革の取組紹介を行った。



【事前説明】

茨城大学の学生が、意見交換の目的やテーマ、ルール等の説明を行った。



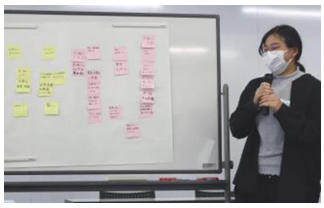
【意見交換】

各自で名札を作成し、グループ内で自己紹介（名前、水戸と関わって〇年、水戸市内の好きなお店等）を行った後、テーマ①・②について意見交換を行った。



【意見発表】

各グループの代表者（学生）が、意見交換で出された意見等を発表した。発表後は、発表補助者である議員が、補足事項等について適宜発表を行った。



【講評（ファシリテーター代表）、閉会】

ファシリテーターの今川教授から、それぞれ今回の意見交換についての講評をいただき、意見交換会を閉会した。



茨城大学生（行政法ゼミナール所属）と水戸市議会議員の意見交換会
「学生と創る、未来の水戸」　アンケート結果

1　集計期間

令和８年 10 月 23 日～26 日

2　調査対象

意見交換会に出席した茨城大学生 15 名

3　アンケート結果

回答数	15

(1) 意見交換はいかがでしたか。

回答	回答数	割合
とても良かった	13	86.7%
良かった	2	13.3%
どちらとも言えない	0	－
悪かった	0	－
とても悪かった	0	－

(2) 具体的にどんなことを感じましたか。（複数回答可）

回答	回答数	割合
自分の思いを話すことができた	11	73.3%
色々な人の意見が聞けてよかった	14	93.3%
話を聞いて、新たな学びや発見があった	10	66.7%
あまり話すことができなかった	0	－
楽しめなかった	0	－

(3) 今回の意見交換を通じて、議会や議員に対するイメージは変わりましたか。

回答	回答数	割合
変わった	9	60.0%
変わらない	6	40.0%

(4) 前問で「変わった」を選んだ方にお伺いいたします。差し支えなければ、理由を教えてください。（自由記載）

回答
頭ごなしに否定されることもなく、安心して会話できた。
固い人が多いのかと思っていたが、意外と話しやすかった。
朗らかな方が多いという印象を受けた。
意見を丁寧に聞いてもらったので、想像より親しみやすい方が多い印象を受けた。
議員の皆様は想像よりも話しやすく、親しみやすい印象になった。

回答
議員の方は真面目で堅いというイメージだったが、実際に話すと気さくな方ばかりだったので、印象が変わった。
議会や議員の方は自分からは遠い存在のように感じていたが、実際に話してみると親しみやすい方も多く、自分の話もよく聞いてくださり、思ったよりも柔軟に住民の意見が反映されそうだと感じた。
昨年の意見交換会よりも、1つの提案に対して、議員の方から、より具体的に実際に取り組まれている施策や現状について、お話を聞くことができ、水戸市議会についてより良い印象を持つことができた。
お話をする中で、親しみやすさを感じた。

(5) 次回もこのような機会があれば参加したいと思いますか。

回答	回答数	割合
思う	14	93.3%
思わない	0	-
分からない	1	6.7%

(6) 次回の機会で、議員に聞いてみたい話題等があれば、記入してください。(自由記載)

回答
今回の意見交換会を経て、意見はどのように反映されたのか、またされなかったとしたらどこに課題があるのか。
学生が議会の取り組みについて学ぶために、何をしていくべきだと考えるか。
議会や議員さんが学生に対して求めることなどは何かあるか。
意見交換会や政策提言会などを通して、どんな変化があったか。
子ども条例の策定がどうなったか。
普段どのような活動を行っているのか。
議員の方が関心のある大学生の活動について
ボランティア活動などの学生が力を入れている活動を、市として推進していくことについて

(7) その他、御意見や御感想、要望等があれば御記入ください。(自由記載)

回答
ありがとうございました。
思ったよりも議論の時間があっという間に過ぎたと感じた。もう少し議論時間に余裕があると、よりテーマについて深く話せると思った。
今回の意見交換会に参加して、普段あまり関わることのない市議会議員の先生方と話をすることができて、とても有意義に感じました。また、自分たちには議会等の制度に関する知識がほとんどないということを痛感した意見交換会であったと感じ、同時に、今後もこのようなかたちで学生と議員の先生方との交流を保つことによって学生の議会への知識と理解が深まると感じました。今回はこのような会に参加させていただき、本当にありがとうございました。
一つの話題で盛り上がってしまい、多くの話題に触れることができなかったのが少し残念に思った。難しいとは思うが、もう少し時間をとることができればより深い内容の意見交換会にできるのではないかと感

回答
じた。しかし、議員の皆さんもとても気さくな方ばかりで、非常に話しやすくて楽しい時間を過ごすことができたのはよかった。
意見交換会に参加させていただき、ありがとうございました。今回の意見交換会は時間が短めで、まだ議論が続きそうなところで終了してしまったこともあったので、もう少し時間を取っていただけたら議論がより深いものになるのではないかと感じました。
学生として、住みやすいまちというテーマで水戸市に対して理解を深めることができた。特に、水戸市に長く関わっている議員の方々から、水戸市の良くなったところや議会報の改善など、少しずつ良くなっていることが分かって、水戸市や市議会に対して頑張ってほしいと思うとともに、今後も選挙などを通して、積極的に政治に参加していこうと思えた。
この度は貴重な機会をいただきありがとうございました。非常に有意義な時間を過ごすことができました。中々難しいとは思いますが、もう少しだけでも構いませんので、話し合いのお時間を増やしていただけると嬉しいと感じました。議員の方々からのお話をすべては伺いきれなかったように感じたので、ご検討よろしくお願いします。
本日はありがとうございました。議員のみなさんが学生のさまざまな意見に関心を持ってくださり、たくさん質問もしてくださって、とても楽しく意見交換をすることができました。また議員さんのお話からは、実現するために必要な視点や考え方などを知ることができ、学ぶことの多い時間でした。次回もこのような機会がありましたらぜひ参加させていただきたいです。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。